

和歌山県西牟婁郡白浜町

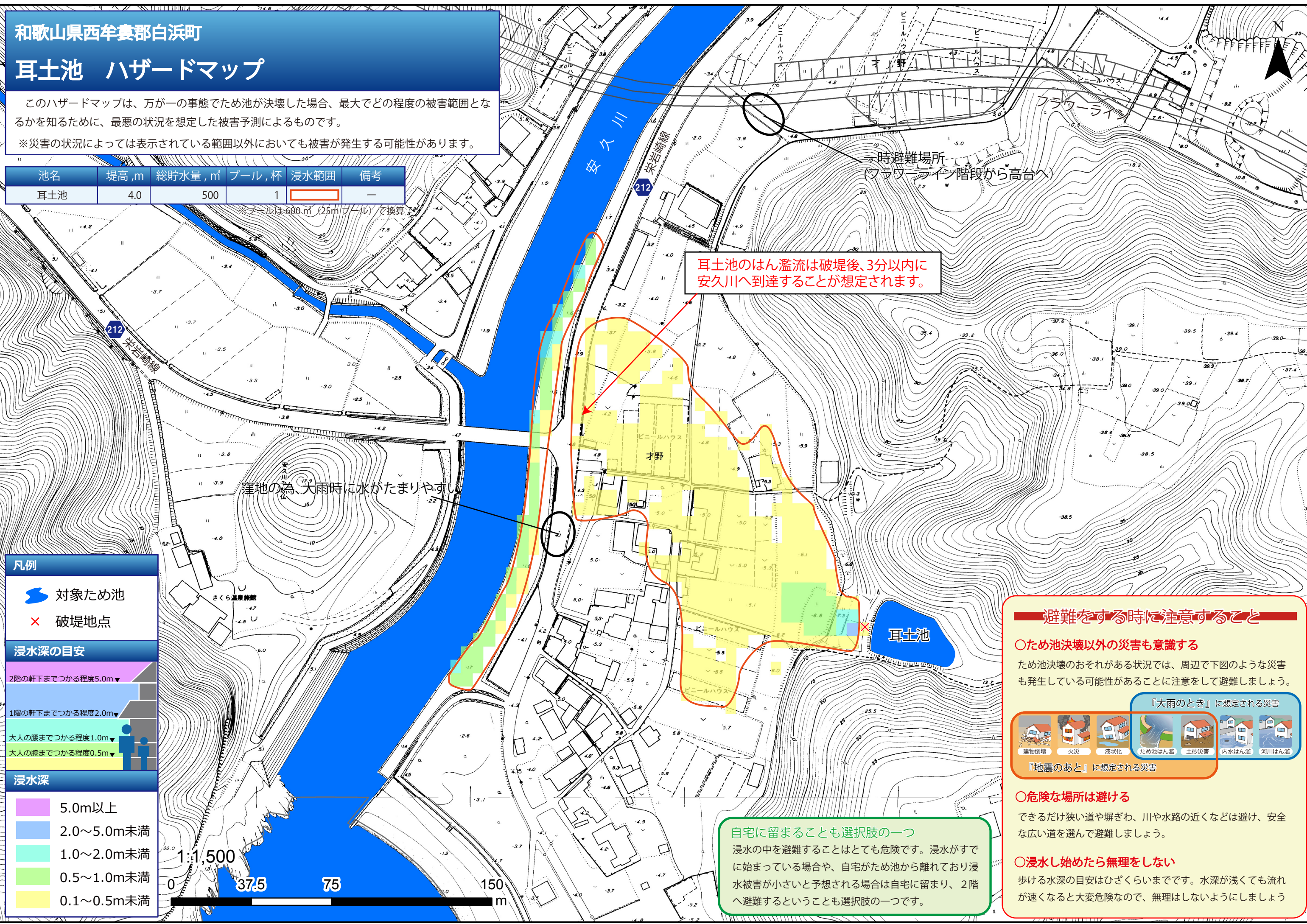
耳土池 ハザードマップ

このハザードマップは、万が一の事態でため池が決壊した場合、最大でどの程度の被害範囲となるかを知るために、最悪の状況を想定した被害予測によるものです。

※災害の状況によっては表示されている範囲以外においても被害が発生する可能性があります。

池名	堤高,m	総貯水量,m ³	プール,杯	浸水範囲	備考
耳土池	4.0	500	1		—

※プールは600m(25mプール)で換算



耳土池のはん濫流は破堤後、3分以内に安久川へ到達することが想定されます。

一時避難場所
(フラワーライン階段から高台へ)

窪地の為、大雨時に水がたまりやすい

凡例

対象ため池

破堤地点

浸水深の目安

2階の軒下までつかる程度5.0m▼

1階の軒下までつかる程度2.0m▼

大人の腰までつかる程度1.0m▼

大人の膝までつかる程度0.5m▼

浸水深

5.0m以上

2.0～5.0m未満

1.0～2.0m未満

0.5～1.0m未満

0.1～0.5m未満

避難をする時に注意すること

○ため池決壊以外の災害も意識する

ため池決壊のおそれがある状況では、周辺で下図のような災害も発生している可能性があることに注意をして避難しましょう。

『大雨のとき』に想定される災害

建物倒壊 火災 液状化 ため池はん濫 土砂災害 内水はん濫 河川はん濫

『地震のあと』に想定される災害

○危険な場所は避ける

できるだけ狭い道や塀ぎわ、川や水路の近くなどは避け、安全な広い道を選んで避難しましょう。

○浸水し始めたら無理をしない

歩ける水深の目安はひざくらいまでです。水深が浅くても流れが速くなると大変危険なので、無理はしないようにしましょう

自宅に留まることも選択肢の一つ

浸水の中を避難することはとても危険です。浸水がすでに始まっている場合や、自宅がため池から離れており浸水被害が小さいと予想される場合は自宅に留まり、2階へ避難するというのも選択肢の一つです。